

令和7年度 全国学力・学習状況調査の結果について（美祢市）

令和7年度全国学力・学習状況調査の結果についてお知らせします。

1 調査の概要

（1）目的

○ 義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

（2）調査期日 令和7年4月17日（木）

（3）調査を実施した校数・児童生徒数

学年	学校数	児童生徒数
小学校第6学年	9校	児童数 108人
中学校第3学年	5校	生徒数 115人

2 美祢市の結果

（1）教科に関する結果

	小学校			中学校		
	国語	算数	理科	国語	数学	理科
美祢市	64	53	56	56	46	519
山口県	68	58	58	55	48	503
全国	66.8	58.0	57.1	54.3	48.3	503

※「中学校理科」IRTを用いた結果返却について

IRTに基づいて各設問の正誤パターンの状況から学力を推定し、500を基準にした得点で表すものです。

【教科の出題の具体より】() は県平均との差

小学校
国語

- 目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見つけることができる (+1.6%)
- △ 書く内容の中心を明確にし、内容のまとまりで段落をつくりたり、段落相互の関係に注意したりして、文章の構成を考えることができる (-8.4%)
- △ 事実と感想、意見などとの関係を叙述を基に押さえ、文章全体の構成を捉えて要旨を把握することができる (-7.3%)

小学校
算数

- 示された資料から、必要な情報を選び、数量の関係を式に表し、計算することができる (+2.6%)
- △ 「10%増量」の意味を解釈し、「増量後の量」が「増量前の量」の何倍になっているかを表すことができる (-13.4%)
- △ 棒グラフから、項目間の関係を読み取ることができる (-12.2%)

小学校
理科

- 電気の回路のつくり方について実験の方法を発想し、表現することができる (+5.3%)
- △ 水が氷に変わる温度を根拠に、オホーツク海の氷の面積が減少した理由を予想し、表現することができる (-11.6%)

中学校
国語

- 資料や機器を用いて、自分の考えが分かりやすく伝わるように表現を工夫することができる (+11.6%)
- 文章の構成や展開について根拠を明確にして考えることができる (+5.5%)
- △ 自分の考えが明確になるように、論理の展開に注意して、話の構成を工夫することができる (-5.5%)

中学校
数学

- 事象に即して、グラフから必要な情報を読み取ることができる (+8.1%)
- △ 素数の意味を理解している (-13.8%)
- △ 事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明することができる (-6.0%)

中学校
理科

- 仮説を立て科学的に探究する場面において、電気回路に関する知識及び技能を活用して仮説が正しい場合の結果を予想することができる (+16.1%)
- △ 気圧に関する身近な事象を問うことで、気圧の知識が概念として身に付いている (-13.6%)

【特に正答率が低かった問題】

小学校 国語

書く内容の中心を明確にし、内容のまとまりで段落をつくり、段落相互の関係に注意したりして、文章の構成を考えることができる (-8.4%)

2

山田さんの学級では、伝統工芸品についてすいせんするちらしを書くことにしました。山田さんは、手ぬぐいのよさについてすいせんする文章を、次の【ちらし】に書いています。これをよく読んで、どの問い合わせに答えましょう。

【ちらし】

- 1 読んでほしい順序を明確にして、時間の流れに沿って書いている。
- 2 伝えたいことの中心を明確にして、内容のまとまりごとに分けて書いている。
- 3 文章の筋道が整うように、原因と結果を明らかにして書いている。
- 4 読み手の目的に応じて読めるように、使い方の手順に沿って書いている。

一 山田さんは、文章の構成をくふうして【ちらし】を書いています。山田さんが文章の構成をどのようにくふうしているかを説明したものとして最も適切なものを、次の1から4までのなか一つ選んで、その番号を書きましょう。

手ぬぐい

手ぬぐいには、いろいろなよさがあります。そのよさとは、どのようなものでしょう。

よさ1 もよう

さまざまなもようがあり、すきなもようを選ぶことができます。おくり物としてもぴったりです。

春節を感じるもよう

手ぬぐいには、植物や風景をもとにしたもようがあります。季節に合わせて手ぬぐいを選ぶことができます。

しゅみやすきなものに合わせたもよう

スポーツや音楽などに関係するもようの手ぬぐいもあります。相手のアニのみに合わせて、もようを選び、おくることができます。

よさ2 使い方

手などをふくだけではなく、身に着けたり、物を包んだりすることもできます。

身に着ける使い方

あつい日に、水でぬらして首にまくと、すずしく感じます。また、外で作業をするときに頭にかぶると、あせをきゅうしゅうし、両手が空くので仕事がしやすくなります。

物を包む使い方

手ぬぐいは、いろいろな物を包むことができます。

このように、手ぬぐいには、いろいろなよさがあります。みなさんもぜひ使ってみてください。

小学校 算 数

「10%増量」の意味を解釈し、「増量後の量」が「増量前の量」の何倍になっているかを表すことができる (-13.4%)

(4) 家に帰ったあさひさんは、つめかえ用のハンドソープがのっている広告を見ました。

広告には、つめかえ用のハンドソープが「10%増量」と書かれています。

増量前のつめかえ用のハンドソープの量は800mLです。



増量後のハンドソープの量は、増量前のハンドソープの量の何倍ですか。
上の②にあてはまる数を、下の1から4までのなかから1つ選んで、その番号を書きましょう。

1 0.1

2 1.1

3 10

4 110

小学校 理 科

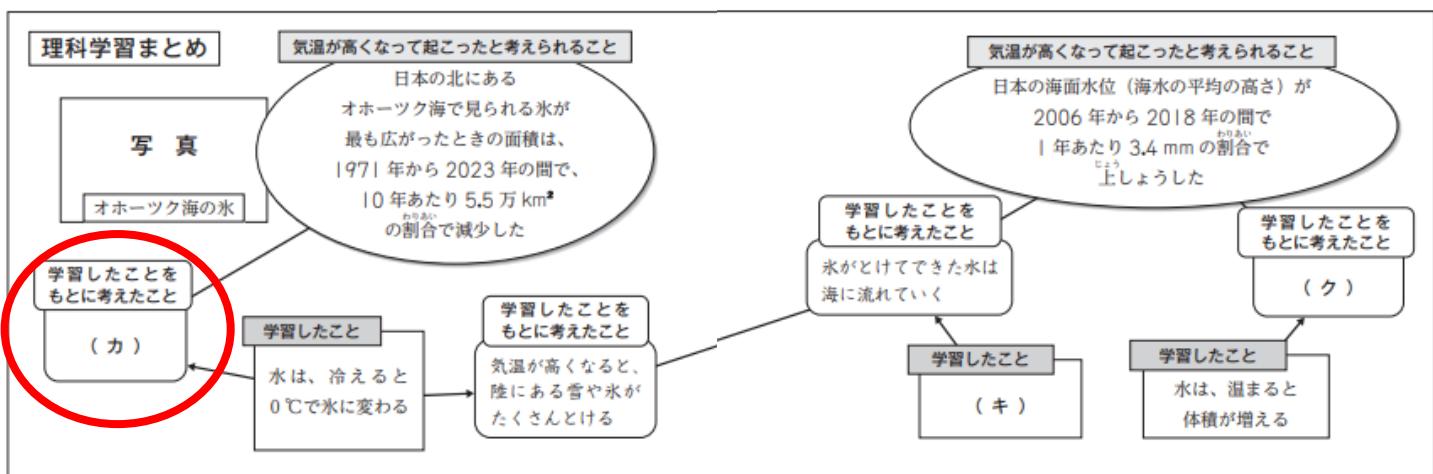
水が氷に変わる温度を根拠に、オホーツク海の氷の面積が減少した理由を予想し、表現することができる (-11.6%)

ひろみさんとゆういちさんは、気温に関するニュースを知り、話しています。

日本の1年間の平均気温が、過去100年間で約1°C高くなったことをニュースで知りました。



「気温が高くなつて起つたと考えられること」について、ひろみさんと思い出したり考えたりしたことを、「学習したこと」や「学習したこととともに考えたこと」に分け、まとめました。



(3) 図の(カ)から(ク)の中には「学習したこと」や「学習したこととともに考えたこと」が入ります。(カ)から(ク)の中にあてはまるものを、右の1から4の中からそれぞれ1つずつ選んで、その番号を書きましょう。

- 1 海水は、温まると水と同じように体積が増える
- 2 海の氷は、平均気温が高くなるとできにくくなる
- 3 水は、高い場所から低い場所へと流れる
- 4 水は、冰になるとき体積が増える

自分の考えが明確になるように、論理の展開に注意して、話の構成を工夫することができる (-5.5%)

- 2 村田さんは、国語の時間に、学校の活動を地域に広げるアイディアについてスピーチをする学習に取り組んでいます。村田さんは、青木さんとあなたにスピーチのリハーサルを見てもらい、助言を求めています。次の【村田さんのスピーチ】と、〈スライド①〉から〈スライド⑤〉までを読んで、あととの問い合わせに答えなさい。

【村田さんのスピーチ】

私は、「マリープロジェクト」をもとにしたアイディアを考えました。

「マリープロジェクト」は、皆さんも知っているとおり、環境委員会が参加者を募って行っている、マリーゴールドを育てる活動です。参加したことのない人も、登下校のとき、きれいに咲いたマリーゴールドの花に、心が和んだこともあるのではないかでしょうか。マリーゴールドは、苗から育てることが多いのですが、この活動では、採取した種から育っています。

ここで、〈スライド①〉を提示

スライドに示したように、次の年、また次の年へとつながる、持続的な活動であることが、この活動の大きな特徴です。咲いた花を楽しむだけではなく、手入れをしながら成長を見守ることに魅力を感じ、私は、1年生のときからこの活動に参加しています。

ここで、〈スライド②〉を提示

これは、実際に採取したマリーゴールドの種です。次のシーズンに学校で育てる分を確保したあと、家でも育てたい参加者は種をもらって帰ります。私も、種をもらって、家族と一緒に育てています。ただ、

みんなが持ち帰ったとしても、採取した種は残ってしまいます。……あ、1年間で採取した種のうち、半分以上は残ってしまうのですよ。そこで、考えたのが、今行っている活動を発展させた「つなごうマリープロジェクト」です。

ここで、〈スライド③〉を提示

このプロジェクトの長所は、まず、残ってしまう種を活用できることです。そして、地域の方にも、花を育てる楽しみを味わってもらいます。しかも、マリーゴールドの種は毎年採取できるので、このプロジェクトも持続可能です。

ここで、〈スライド④〉を提示

このプロジェクトの内容は、残った種を地域の希望する方にも配るというものです。例えば、地域の方が来校する学校行事や、私たちが参加する地域の行事などで配りたいと思います。育ててくださる地域の方のために、残った種から発芽しやすいものを選び、育て方のポイントを書いたカードと一緒に渡します。

ここで、〈スライド⑤〉を提示

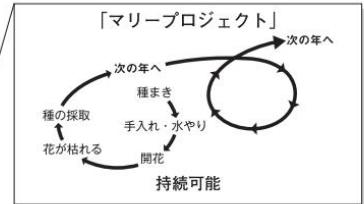
今行っている活動を工夫することで、私たちのマリーゴールドと、花を育てる楽しみが地域にも広がります。学校と地域が、マリーゴールドでつながったら、すてきだと思いませんか。

これで、私の発表を終わります。



中一国7

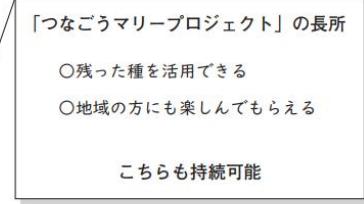
〈スライド①〉



〈スライド②〉

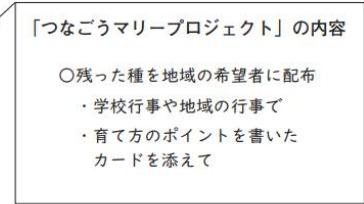


〈スライド③〉



中一国8

〈スライド④〉



〈スライド⑤〉



三 リハーサルのあと、青木さんは、「つなごうマリープロジェクトの長所」の話と「つなごうマリープロジェクトの内容」の話の順序を入れ替えた方がよいと思います。」という助言をしました。その意図を説明したものとして最も適切なものを、次の1から4までのなかから1つ選びなさい。

- 1 村田さんが考えたプロジェクトの長所は、プロジェクトの内容を把握してから聞いた方がよく理解できると考えられるから。
- 2 村田さんが考えたプロジェクトの内容は、残った種の写真を見ながら聞いた方がよく理解できると考えられるから。
- 3 村田さんが考えたプロジェクトの長所は、異なる立場からの意見と関連付けて話した方が伝わりやすいと考えられるから。
- 4 村田さんが考えたプロジェクトの内容は、もとになった活動の長所の直後に話した方が伝わりやすいと考えられるから。

中学校
数 学

素数の意味を理解している (-13.8%)

1 下の 1 から 9 までの数の中から素数をすべて選び、選んだ数のマーク欄を黒く塗りつぶしなさい。

1 2 3 4 5 6 7 8 9

中学校
英 語

気圧に関する身近な事象を問うことで、気圧の知識が概念として身に付いている (-13.6%)

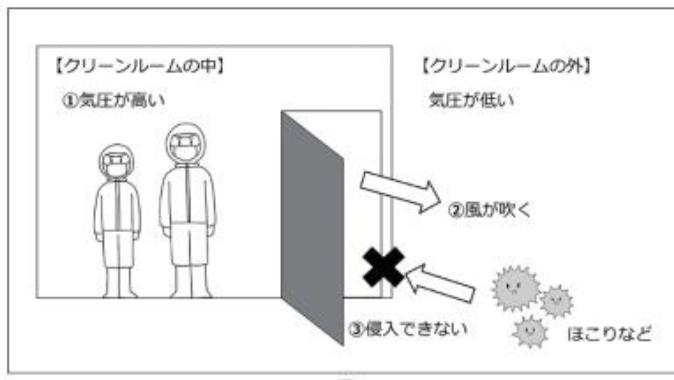


空気による圧力を気圧と言いましたね。
身の回りで気圧を利用しているものを、調べて発表しましょう。

【Bさんの発表】



工場のクリーンルームは、図のように
気圧を利用しています。



【図の補足説明】

- ①クリーンルームの中の気圧を常に高くしておく。
- ②風がクリーンルームから外へ向けて吹く。
- ③そのため、ほこりなどはクリーンルームに侵入することができない。

(2)

クリーンルームのほかに気圧を利用して最も適切な事象を1つ選びなさい。



ストローを使って
飲み物を吸い上げる



冷たいコップの
表面に水滴がつく



うちわで扇ると
火が大きくなる



スポンジでコップを洗う

小学校：成果・課題の分析

- 図表や実験結果などの資料から必要な情報を正確に読み取り活用する力が、国語・算数・理科のいずれの教科でも安定して見られた。特に、単位変換や計算手続き、語句理解などの基礎的・手続き的な技能において、全国平均に近い定着となった。
- 一方で、根拠を明確にした論理的な説明力や、複数の情報を関連付けて思考を展開する力の育成に課題が残る。今後は、情報の読み取りと論理的な言語化をつなぐ活動を授業の中で計画的に位置付ける必要がある。

中学校：成果・課題の分析

- 与えられた資料や文章から必要な情報を抽出・活用する力が、国語・数学・理科のいずれの教科でも全国水準を上回る傾向が見られた。特に、問題文や図から情報を的確に把握し、条件に応じた判断や解釈を行う設問で安定した正答率が確認された。
- 一方、抽出した情報をもとに、理由や根拠を明確にして論理的に説明したり、複数の視点から考察を行ったりするような高次の思考を問う設問では、全体的に正答率が伸び悩んでいる。今後は、情報処理の技能と論理的思考を接続する言語活動の一層の工夫と継続的な取り組みが求められる。

(2) 児童生徒質問紙調査の結果

当てはまると答えた割合が県平均よりも高いものを○、低いものを△

小学校

- 国語の授業で、先生は、あなたの良いところや、前よりもできるようになったところはどこかを伝えてくれますか (+20.1%)
- 地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか (+17.1%)
- 授業や学校生活では、友達や周りの人の考えを大切にして、お互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいますか (+14.6%)
- 人が困っているときは、進んで助けていますか (+13.8%)
- いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか (+13.7%)
- △困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか (-7.5%)

△学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか：「1時間以上」勉強している児童の割合 (-5.7%)

※自己を肯定的に捉え他者への貢献意欲が高く、積極的に探究活動や協働活動へ取り組む姿勢が見られる。一方で、国語に対する得意意識の低さ、学校外での学習時間の不足、が課題として挙げられる。

中学校

- ◎理科の授業では、観察や実験をよく行っていますか (+18.7%)
- ◎先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか (+12.8%)
- ◎先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれていると思いますか (+12.2%)
- ◎学校に行くのは楽しいと思いますか (+10.6%)
- ◎普段の生活の中で、幸せな気持ちになることはどれくらいありますか (+8.7%)
- △人が困っているときは、進んで助けていますか (-5.4%)
- △あなたは自分がPC・タブレットなどのICT機器で文章を作成する（文字、コメントを書くなど）ことができると思いますか (-5.7%)
- △あなたは自分がインターネットを使って情報を収集する（検索する、調べるなど）ことができると思いますか (-4.0%)

※理科など教員の丁寧な指導、学校生活への肯定感が県平均を上回り、学習意欲や幸福感の高さが見られる。ICTを使った文章作成や情報収集、困っている人を助ける行動などでは差が見られ、技能面や他者貢献意識の育成が課題である。

（3）市教委の重点的取組：学校訪問や授業支援を通じた伴走型の学校支援の強化

【1】子どもの主体的な学びを支える授業改善

課題：学習過程の選択・学習形態の調整などにおいて自己調整的に学ぶ力

取組○「課題設定」「学習過程」「学習形態」における学習の過程を調整

○発問や板書、子どもの見取りに基づく支援

○授業参観エントリー制度で一人ひとりの授業改善に向けた指導助言を実施

【2】多様な学びの保障と個別支援体制の充実

課題：理解の程度や学びの進度に応じたきめ細やかな支援の仕組みづくり

取組○校内体制の見直しによる「多層的な学習支援」の再構築と役割分担の明確化

○Qubena等のICT教材を活用した自由進度学習の充実と個別最適な学びの支援

○児童生徒の振り返りを起点とした学習の定着度を高める指導の工夫

【3】実態把握と教育データに基づくマネジメントの高度化

課題：実態分析やデータ活用の質的向上、校内共有の深化

取組○小学3・4年を対象とした市独自確認問題の実施と学力課題の早期把握

○全国調査・確認問題・ICT教材のデータを活用した個別支援方針の作成支援

○学力向上プランおよび学力推進対策シートによる学校経営へのPDCAの内在化